

第29回元気が出る森松展



元気が出る森松展今年も開催致します！
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
昨年度と同じく完全予約制となります。
また、弊社ホームページにてオンライン
でも公開予定となっております。
皆様のご来場をお待ちしております！

モーリングループ 新入社員紹介

New Employee

森松株式会社 MORLIN



山田香理
所属：特販部

4月より本社特販部に入社致しました山田香理と申します。主に出荷作業をさせていただいております。覚える事が多いですが、1日も早く慣れて特販部の為に頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

先輩からひとこと / 則武

毎日出荷作業ありがとうございます。これから暑くなりますのでこまめに水分補給など行い頑張ってください。

New Employee

森松産業株式会社 MORLIN



相馬奈緒美
所属：森松産業

4月より入社しました相馬奈緒美です。小学2年と3年の男の子がいます。学校行事等でご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、精一杯頑張ります。仕事を早く覚えて一人前になれるように日々努力しますので、よろしくをお願いします。

先輩からひとこと / 野間・久末

仕事と育児の両立は大変だと思いますが、一箱に頑張っていきたいと思います！

ZOOM ミーティング

森 直樹 (代表取締役社長)

昨年より毎週のように使用するオンラインミーティングのアプリ、ZOOMですが画面越しに相手を見つつ話をするのは、電話での会話以上に多くの情報が伝わるものの、どこか実際の対面とは違って伝えるべき事がどの程度伝わったのか気になる部分も多々あります。しかしWEBミーティングについて、私がこのような印象を抱いているのも名古屋に住み、名古屋で仕事をしているからこそ感じる事だと思います。もしさらに大きな都市、例えば東京・大阪であれば移動や面会についてより慎重にならざるを得ないでしょう。なのでオンラインミーティングだけが唯一の商談手段となる状況は容易に想像が付きまします。そうなるといかにオンラインでの質を上げるか、という事に意識が向きます。また、いかに画面の向こうの相手に伝わりやすい話し方をすればよいか、話す際の表情や身振りはどうか…と技術的な面でも学ぶ事でより効果的な面談となるでしょう。現時点での各都市の状況を鑑みると、まだまだ行動の制限が求められています。9月9日より開催の弊社展示会では、WEBサイトを活用し、そこで展示会情報をチェックできるよう準備を進めております。本来ぜひとも会場まで足を運んで頂きたいところではありますが、今年も昨年同様の感染対策を行った上での開催です。年内は皆様とはオンラインにてお会いできるのを楽しみにしております。



TOKYO2020

牧野 光昌 (企画営業部)



この投稿が社内報に載ってアップされる頃にはすでに TOKYO2020 は開催中で、日本最初の金メダリストも誕生しているのかもしれませんが、社内でもさほど多くない TOKYO1964 を記憶している一人として、思う事を文面にしてみました。先日は総理が国会でコロナ架での TOKYO2020 開催に関する質疑に対して語りだした TOKYO1964 の思い出話に思わず失笑してしまいました。が、当時 8 才だった私にも思い出として感銘する点はありました。でも、国会答弁としては落第点ですね。一昨年の NHK 大河ドラマで TOKYO1940 開催決定から中止まで、さらに TOKYO1964 開催への流れを知る事が出来ましたが『スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的としたスポーツの祭典』と言いながら、政治と金にまみれた、きな臭い出来事でもあったんだな、と感じました。TOKYO1964 は 10 月に開催されたので、昼間は学校もあり、夜は中途半端にしかテレビ放映を見られなかったので、ちゃんと見た競技はあまりなかったのですが、重量挙げの三宅選手が金メダルを取った記憶はあるけれど、持ち上げ方の種類がよく分からなかった。バレーボールもサーブ権が無いと得点が入らない事が理解できた頃には金メダルが決まっていたし、最後の得点はソ連のタッチネットで『タッチネットって、駄目なんかい?』と思ったものでした。そして学校の体育館で鑑賞させられた、市川崑監督の『東京オリンピック』という映画。(これが一番印象に残っていますね。) 市川監督はオリンピックのきな臭いイメージを払拭すべく『平和な祭典』という事を徹底して打ち出す内容に仕上げ、閉会式で選手たちが国境も人種も超えて腕や肩を組み合せて入場する映像をラスト近くに持ってきて、最後は太陽が沈み、聖火が消え、そして『聖火は太陽へ帰った。人類は 4 年ごとに夢を見る。この創られた平和を夢で終わらせていいのであろうか』の字幕に、オリンピックという平和の祭典が世界平和につながる事を祈り続けます、という気持ちを表現したのだと思います。その市川監督の思いはどこまで届いたのか。今もその思いは宇宙の中で迷走中なのか。それとも温暖化した光の中で溶けてしまったのか…。

知人友人

加藤 雅昭 (企画営業部)



この年になってお知り合いや、久々に合う人が増えてきている。まずは今通っているスポーツクラブの同じ時間帯の方々、織機・デンソー・愛三の水泳部の皆さん。時間帯が重なると年寄りの私に、一緒に練習しますよと誘ってくれる。しかしとてもついてける練習量じゃない、1 本おきにしたりして対応しているがそれでもキツイ。しかし、「ねえねえ加藤さん、キャッチの位置深くなりすぎてませんか?」とか身体の左右ブレが大きすぎますよ、等々アドバイスしてくれる。いままで一人で浮草のごとく泳いでいたので、楽な泳ぎが身についてしまっていた。キャッチポイントを約 3 cm 刻みでいろいろと移動させてみる、ピッチも上がりロールも調子がよくなる。ありがたい仲間である。あと後期? 高齢者のみなさん。同じ時間帯にいつもの約 10 名くらいの方々と、最高齢が 80 才、一番若いのが私でそのうえが 67 才、女性? のほうが多いな。一人で泳いでいると、ちょっと私進まないんだけど、どうしたら楽に泳げる? などと話しかけていただく。色々話しているうちに仲良しになり、泳ぎ終わった後でのジャグジーで話過ぎてしまうこともしばしば。しかしこの方々からゴルフやお食事会に誘われる…とうとう老人会に仲間入りか?? 大学水泳部の先輩、来年は福岡で世界マスターズ水泳があるのは知っていた。急に電話があり、「来年、世界マスターズ出るけん、予定ばあけとつちやらんね」と一方的な電話。愛知県に住まわれている大先輩方々は 6 名、「60 才ば過ぎたつちやから練習時間を増やして、まともなレースばせんかね」とか、まるで 40 年前のまんまである。素晴らしき先輩面々! 高校の水泳部の仲間、皆さん結構自由になってきたようで、いろいろな連絡が来るようになってきた。食事会やゴルフ、旅行等々元気なうちに遊んでおこうとのこと。高校の同級生、それこそ 42 年以上前の同級生が、友人の友人つながりで連絡が来る。懐かしいなあ、昔はいろいろやんちゃしていたやつらが、まっとうに爺さんしているらしい、会ってみたいな。岡崎のマスターズ水泳のお仲間さん、バイク仲間、移動喫茶仲間等々…う〜ん、全部に付き合っていたら体がもたん。しかし、この年になっていろいろな方からお声をかけていただきありがたい、老後も忙しくなりそうだな。その為にも元気でいたいとね。

夏のカオリ

大石 耕平 (東京オフィス)



仕事を終えて帰宅するなり玄関先で配偶者からファブリーズをかけられることがあるのは私だけなのだろうか。ファブリーズとは、P & Gから発売されているスプレー式消臭・除菌剤で、妻はそれをピストルに見立てて構え「バキューンバキューン」全身を撃ち抜き、消臭・除菌するのだ。私は汚物か。悔しくて悔しくて仕方がない。屈辱的で、より悔しい。私は臭いのだろうか…それともバイキンマンなのだろうか。そのへんをハッキリさせてモヤモヤにバイバイキーンしたく妻に尋ねてみた。すると妻は「妊娠中の悪臭は、胎児の発育に悪影響を与える恐れがあります」と無表情に言うだけであった。おかしい。妻は妊娠していない。私という存在をどれだけぞんざいに取り扱いをしておられるのか、測りかねるところではある。仮にだ。仮に私は臭いでしょう。それは認めよう。けれど煙草臭ではない。断じて。なぜなら私は煙草を吸わない。潔白だ一。正直に告白しよう。臭いの正体は加齢臭だ。38歳匂いに敏感にならねばならぬ、避けては通れない年齢なのだ。絶望はしていない。つまり漢の道である。「認めたくないものだな。自分の加齢ゆえの臭いというやつを」とニヒルに決めるつもりもない。だが自覚している。きっかけはある日、娘から「昨日ギョーザ食べてきたでしょー」と言われるようになってから。もちろん私はギョーザを食べていない。心ない言葉に対して「羽根つきギョーザをちょっとね!」と応じる。私は泣いた。私の心のギョーザの羽根は、太陽に近づきすぎたイカサの翼のように焼け落ちたのだ。夫婦なんてパートナーの臭いを忌み嫌うのではなく、お互いの加齢臭をかぎあって生きていくようなものじゃないのか。そもそも、夫婦の道の前に、人の道として、仕事で疲労困憊になって帰ってくる私にファブリーズを乱暴に噴射することはどうなのか。漢の臭いは、一所懸命働いた結果。吹き出した皮脂が原因だ。つまり家族への思いの強さの反映なのだ。もう少しそのあたりをくんでくれよ、と詰め寄ると妻は「十分に考慮したうえでの行為です」という。妻、曰く、「臭いの強度によりファブリーズ、リセッシュ、ハイジア、3種類の薬剤を使い分けています」。使い分けの詳細は秘密とのこと。考慮するポイントがズレている。何か違う。いやまったく違う。そこじゃない。まるで私の気持ちがわかっていない。けれども妻が、彼女なりに私のことを考えてくれていることが嬉しい。たとえその行為が間違っているのだとしても。私はそのあやまちを許す。きっと、互いを許しあっていくのも夫婦なのだ。「妻を憎んで罪を憎まず」と心に誓って今夏もピストルの標的になるのだ。

船上 BBQ クルーズ

西垣 浩司 (森松産業)



私たち家族と母親、兄弟家族たち総勢16名で船上BBQクルーズをしました。コロナ渦の中ではありますが、感染対策の徹底は従来と変わらずしっかりとし、もちろん換気も消毒も徹底している水上の開放空間ですので、安心して利用致しました。初の船上でのBBQクルーズツアーで、陸上では味わえない船上異空間クルーズが出航です。BBQコンロ貸出で、コンロは外に設置し、中は窓を開け換気もばっちり。持ち込みの野菜、焼きそば、海鮮、お肉などを多めに用意し、宮の渡し乗船所(堀川)を出航し、シートレインランドを経由して名港トリトン下までの贅沢な周遊、天気予報から一転して好天となり、クルージングには絶好の天候になりました。名港トリトンを眼上にすると迫力が違いますね!皆で持ち寄ったゲームや景品などを配りながら、親睦を深めている中、食事も景色も、



いつもとは違う視点と雰囲気味わえる空間でした。もちろん名古屋港では記念撮影もバッチリで、外で焼きながら風にあたるのは気持ちいいこと間違いなし!安全を確認してデッキの柵を立て、上にあがって皆ではいチーズ!景色もバッチリです!あっという間の運航が終わり、宮の渡し乗船所へ戻ります。皆の輪の中に父親だけがないのが、どの家族も残念がっていましたが、来年こそはと思い込んで船上BBQクルーズを終了しました。家族ともどもいいリフレッシュが出来たと思います。



南雲 彩 (経理部)

雲南省だより No.3

キノコ王国・雲南

山の多い雲南省は豊かな森林と美しい空気に恵まれています。北部や中部の山々には、野生のキノコが自生しており、日本でも馴染みの松茸をはじめ、ポルチーニ茸やモリノキノコタケ、レイシ、キヌガサタケなど、約二百五十種が含まれています。世界の半分以上食べられる野生キノコの種類を占めており、まさに「キノコ王国・雲南」と言われる由縁です。

日本では、キノコは秋の味覚とされていますが、雲南省ではキノコの旬は夏です。その年の気候状況にもよりますが、雨期に入った7月はポルチーニと松茸の両方が共に出そろう、キノコのベストシーズンです。雲南省の省都・昆明の『木水花野生菌市場』には、雨季から各地で収穫された野生のキノコが店頭に並び、販売されています。中国最大規模を誇るこの野生キノコ市場は、見渡す限りキノコだけで、キノコの香りで充満しています。

ガンバー（干巴）と言うキノコはケイトウの花が一瞬にして灰になったかのような形をしています。世の中のすべてのキノコの香りを凝縮したような香りを持つキノコであり、昆明の人々が愛してやまない夏の美味です。夏の昆明で、ぜひ食べてほしいのが野生のキノコ鍋です。雲南省でしか食べられない名物料理、栄養満点のぜいたくな逸品です。食べ方はシンプルで、メニューまたはショーケースから食べたいキノコを選んで煮込むだけです。鍋のスープは鶏かガチョウの肉を使って出汁を取ることが多く、煮込めば煮込むほど味にコクが出ます。野生キノコ鍋を食べるポイントは、必ずキノコを数種類選ぶことです。そうすれば、最後に濃厚な味わいが口の中を満たし至福のひとつです。

昆明の人々は、キノコのシーズンになると値段は高くても、2度3度と鍋を食べに行くようです。それほど自然の恵みはどの国、いつの時代でも最高のご馳走です。できれば直接産地で食べてみたいですね。夏の昆明に行ったら、是非野生キノコ市場周辺にあるキノコ鍋のお店を訪れてみてくださいね。



癒やし

朝岡 莉香 (森松産業)



昨年10月2日に入社し、約9ヶ月が経ちました。まだまだ覚えることは沢山ありますが頑張っていこうと思いますのでよろしくお願ひ致します。私の今の楽しみといえば、癒やしである、姪っ子3歳と甥っ子2歳と従姉妹の子供1歳の男の子と休みの日に遊ぶことです。3人とも年齢が近いため、1人がおもちゃで遊びだすと3人が同じおもちゃで遊びだし、しばらくするとそれぞれが違う遊びをはじめます。また、1人がジュースやお菓子を食べだすと同じような行動をします。見ていると1人1人の個性が出てとても面白いです。これからの時期は家でバーベキューやプール、花火などをすることが多くなるので、また3人が集まり賑やかになるのではと、今からワクワクしています。来年には甥っ子か姪っ子が増える予定なので、また一緒に遊んだりどこかに出かけるのも楽しみにしています。

